

令和2年度第1回川口市産業労働行政審議会

川口市地域貢献事業者選考部会 会議録

日 時	令和2年9月30日（水）
開 会	午後2時00分
閉 会	午後2時30分
場 所	第一本庁舎6階 602・603会議室
出席者	田中 宣充 田部井 惣次 白根 幸男 布施 富美子 小見山 祐美 田中 雄士
事務局	野崎経済部長 松本産業労働政策課長 鹿岡経営支援課長 横野産業振興課長 倉川産業労働政策課政策係長 後藤経営支援課経営支援係長 山縣産業振興課工業振興係長 高橋産業振興課商業観光係長 内堀産業労働政策課政策係主任 足立経営支援課経営支援係主事

会議録署名委員 田中 雄士

	(開会)	14 : 00
事務局	出席委員の報告	
議長	会議録署名人の指名	
議長	議題、令和２年度川口市地域貢献事業者の選考について、事務局から説明を求める。	
事務局	(議題について資料に基づき新規８件を説明)	
	～～質疑応答～～	
議長	地域貢献活動の項目「誰もが“安全で快適に暮らせるまち”」の実績として、「新型コロナウイルス感染症に係る対応」が入っているが、今年度のみならず、これからも地域貢献活動とするのか。	
事務局	今年度から「新型コロナウイルス感染症に係る対応」を地域貢献活動として追加したが、収束の目途がたたなければ、今後も地域貢献活動として認めていくことになる。	
委員	「全ての人にやさしい“生涯安心なまち”」の実績で女性の積極的雇用とあるが、全体社員の何割以上等、具体的に数値的基準がもうけられているのか。	
事務局	企業ごとで規模が違うため、特段数値目標はもうけていないが、できるだけ女性のみならず、高齢者や障がい者等の積極採用をしていれば地域貢献活動として認定している。	
委員	地域貢献活動に祭りの運営補助とあるが、どのような祭りに参加し、地域貢献活動しているのか、また昔から川口にある企業の他に新しく川口にきた企業も参加しているのか。	
事務局	川口市は古くから鋳物のまちであり、それを代表するたたら祭りのほか、川口宿・	

	鳩ヶ谷宿日光御成道祭りやグリーンセンター等でのお祭り、そして多くの町会のお祭りに、企業として人員を出して運営の補助などをし、地域に貢献している。 また、地域貢献している企業は、地域に根付いた企業が中心となっているが、企業同士の付き合いなどもあって、新しく川口で創業した企業も市から依頼することなく協力してくれている。
委員	女性が活躍している企業が多い。女性ならではの地域貢献活動をPRしてもらいたい。
委員	このコロナ禍で8社も申請があった。しかも実績としても問題なく、このような企業には今後も積極的に地域貢献活動を続けていっていただきたい。
議長	過去3年間の申請件数はどのくらいか。
事務局	昨年度(平成31年度)は6件。平成30年度は7件。平成29年度は5件であった。
議長	この制度はとても良い制度だと思うので、申請件数を毎年2桁にしたい。 また、申請がわかりづらい部分もあるので、商工会議所等に受け付けを依頼するなど、企業が申請しやすいようにし、せめて10件の申請件数にしてほしい。 現在の市内事業者の数からすると、まだまだ少ないので、今後、申請件数を増やすべく、周知の徹底を検討していただきたい。 現状どういう周知活動をしているのか。
事務局	現時点では、市のHPのみならず、広報誌、川口商工会議所や鳩ヶ谷商工会の情報誌等、募集の際には広く周知活動をさせていただいている。 また、今年度から更なるPRに繋がるよう、新たにロゴマークを作成し、認定された事業者の名刺に入れていただき、活用いただくようにした。またステッカーも用意し、地域貢献活動の会社であるとPRしていただきたいと思っている。
議長	ロゴマークやステッカーはとてもいいPRになると思う。 認定を受けてもそれが何だかわからなければ意味がない。今後もぜひ続けていってほしい。

(申請があった８件について、第２回川口市産業労働行政審議会に部会長から川口市地域貢献事業者認定案として提出することを満場一致で承認。その後閉会)

14:30

以上のとおり会議の顛末を証し、ここに署名捺印する。

令和 年 月 日

部 会 長

印

会議録署名委員

印